

## がん検診等事業所実態調査実施概要

### 第1 目的

職域がん検診は保険者や事業主が任意で実施しているものであり、実施状況を把握する仕組みがないため、調査により職域の実態を把握し、第4期高知県がん対策推進計画（R6～R11）における受診率向上施策の立案に活用する。

### 第2 調査期間

令和6年5月下旬～6月上旬

### 第3 調査地域

県内全域

### 第4 調査対象

- ①事業所向け：常用雇用者数10人以上の3,000事業所（対象業種は、日本標準産業分類の「公務」、「分類不能の産業」を除く業種）
- ②従業員向け：①から事業所規模に応じて抽出した従業員3,000人

### 第5 実施主体

高知県健康政策部健康対策課

### 第6 調査方法

郵送回答、インターネット回答の併用（調査票にQRコードを付す）

### 第7 調査内容

- ①事業所向け：全18問
  - a) 基本情報 1問
  - b) がん検診実施状況 5問
  - c) 実施後の対応 4問
  - d) 事業所の意識 1問
  - e) 治療と仕事の両立支援 7問
- ②従業員向け：全16問
  - a) 基本情報 1問
  - b) がんに対する印象・認識 1問
  - c) がん検診の受診状況 6問
  - d) がん検診に関する情報入手状況 3問
  - e) 治療と仕事の両立支援 5問

## 職域におけるがん検診等に関する調査

### 事業所向け

- この調査票では、貴事業所での従業員に対する「がん検診」の実施状況や取組等についてお伺いし、今後の高知県のがん対策に関する取組に反映させることを目的に実施するものです。
- 調査結果は、事業所が特定されないよう統計処理を行います。
- 特に指定のない限り、貴事業所の常用雇用者の状況についてお伺いします。
- 特に指定のない限り、令和5年度（令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで）の状況についてお伺いします。
- この調査では、国が推奨する5つの部位のがん検診を中心にお伺いします。  
(胃、大腸、肺、乳、子宮頸)
- 「がん検診」という名称の検診を受けた場合だけではなく、職場の定期健康診断や人間ドック等でがんの検査を受けた場合も含めてお答えください。  
  
例：バリウムを飲みX線を撮る検査＝胃がん検診、  
胸部のX線（レントゲン）を撮る検査＝肺がん検診
- 調査票は全部で7ページで、回答は10分ほどで終わります。
- 回答はこの調査票に直接ご記入ください。

ご回答期限 令和6年6月●日（●）

本調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力をお願いいたします。

#### 【本調査で使用する用語の解説】

常用雇用者：期間を定めずに雇用されている人又は1ヶ月以上の期間を定めて雇用されている人  
従業員：事業所に所属して働いているすべての人

(調査受託者：返送・  
問い合わせ先)

●●●●●●●●●●  
(〒●●●●-●●●●●●  
×××●●●●)  
電話番号：  
(平日9:00～17:00)  
FAX：  
Eメール：



健康維新の志士  
けん しん太郎くん

< 貴事業所の概要についてお伺いします >

問 1 以下についてお答えください。

調査結果は県で作成する事業所向け資料に反映する予定です。特に取組内容について、県からお問い合わせさせていただいて構わない方は連絡先の記載をお願いいたします。（公表資料は匿名化したデータとなりますので事業所が特定されることはありません。）

1 連絡先	郵便番号※																																
	住所※																																
	事業所名※																																
	電話※				FAX※																												
	担当者の所属				担当者の部署																												
	担当者名※																																
2 常用雇用者数 (令和6年4月1日現在)	(数字をご記入ください)	事業所の全常用雇用者数（年代別） 期間を定めずに雇用されている人又は 1か月以上の期間を定めて雇用されている人の 人数を記入してください。																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30歳未満</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60歳以上</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	男性							女性							計					
	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計																											
男性																																	
女性																																	
計																																	
	(1つだけ○)	企業の常用雇用者数 (本・支店を合わせた全常用雇用者数)			事業所と同一企業（同一会社）に属するすべての事業所 (本社、支社、工場、営業所等)の常用雇用者数を記入 してください。調査事業所が1企業1事業所である場合 には企業全体の常用雇用者数は調査事業所の常用雇用者 数に一致します。																												
		1 10～19人	4 50～99人	7 300人以上	日本標準産業分類（令和5年6月改定）の「公務」「分類不能の産業」 を除く業種																												
		2 20～29人	5 100～199人																														
		3 30～49人	6 200～299人																														
3 業種	(1つだけ○)	1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業 5 製造業 6 電気・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業 9 卸売業、小売業 10 金融業、保険業 11 不動産業、物品賃貸業 12 学術研究、専門・技術サービス業 13 宿泊業、飲食サービス業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 教育、学習支援業 16 医療、福祉 17 複合サービス業 18 サービス業（他に分類されないもの）																															
4 健康保険の種類 (1つだけ○)		1 国民健康保険 2 全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ、船員保険） 3 組合健康保険（健康保険組合共済） 4 その他																															
5 安全衛生管理体制		統括衛生管理者： _____人 安全管理者： _____人 産業医： _____人 衛生管理者： _____人 安全衛生推進者： _____人																															

【参考 がん検診の検査方法について】

- 1 胃がん検診（胃X線検査）  
バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。
- 2 胃がん検診（胃内視鏡検査）  
口または鼻から内視鏡（胃カメラ）を挿入し、胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。
- 3 大腸がん検診（便潜血検査）  
便を採取して、便に混じった大腸からの出血を調べる検査です。
- 4 肺がん検診（胸部X線検査）  
胸部のX線（レントゲン）を撮る検査です。
- 5 乳がん検診（マンモグラフィ検査）  
乳房を圧迫板で挟み、乳房専用のX線（レントゲン）装置で撮影する検査です。
- 6 子宮頸がん検診（細胞診）  
子宮頸部の細胞を採取する検査です。

＜貴事業所のがん検診の現状についてお伺いします＞

問2 科学的な根拠により死亡率の減少が検証されている5つのがん検診を知っていますか。  
(該当する番号を1つだけ○)

検診種類	対象者	検診間隔
胃がん	内視鏡	50歳以上男女
	X線	2年に1回
肺がん	40歳以上男女	毎年
大腸がん		
乳がん	40歳以上女性	2年に1回
子宮頸がん	20歳以上女性	

1 知っている	3 知らない
2 一部知っている	4 その他 ( )

問3-1 貴事業所では、令和5年度に「がん検診」を実施しましたか。  
それぞれのがん検診について、実施の有無をお答えください。(該当する番号を1つだけ○)  
実施していないがん検診の部位がある場合については、問6(3ページ)をお答えください。  
(※再検査・精密検査ではなく、最初の実施する検査(一次検診)についてお伺いします。)

部位	検査方法	実施の有無	部位	検査方法	実施の有無
①胃がん	胃X線検査	1 有	③肺がん	胸部X線検査	1 有
		2 無			2 無
②大腸がん	胃内視鏡検査	1 有	④乳がん	マンモグラフィ検査	1 有
		2 無			2 無
②大腸がん	便潜血検査	1 有	⑤子宮頸がん	細胞診 (医師による採取)	1 有
		2 無			2 無

(問3-1で「1 有」に1つでも○がある事業所にお伺いします。)

問3-2 令和5年度のがん検診の受診者数とがん検診を実施する対象者の範囲をお答えください。

部位	人数	対象者の範囲	
		い全 る員 に 実 施 し て	施希 望 し て の 者 の み に 実
①胃がん		1	2
②大腸がん		1	2
③肺がん		1	2
④乳がん		1	2
⑤子宮頸がん		1	2

(問3-1で「1 有」に1つでも○がある事業所にお伺いします。)

問4 がん検診の種類ごとに、実施時間帯についてお答えください。

検診の時間帯 (該当する番号をすべて○)			
	勤務時間内	勤務時間の前後 (出勤前や夜勤明けなど給料の発生しない時間)	勤務の休業日
①胃がん	1	2	3
②大腸がん	1	2	3
③肺がん	1	2	3
④乳がん	1	2	3
⑤子宮頸がん	1	2	3

(問3-1で「1 有」に1つでも○がある事業所にお伺いします。)

問5 貴事業所では、常用雇用者以外の従業員に対して、がん検診を実施していますか。  
(がん検診の種類ごとに、該当する番号を1つだけ○)

	常用雇用者以外の従業員		対象者の範囲	
	実施している	実施していない	全員に実施している	希望者のみ実施している
①胃がん	1	2	1	2
②大腸がん	1	2	1	2
③肺がん	1	2	1	2
④乳がん	1	2	1	2
⑤子宮頸がん	1	2	1	2

(問3-1で「2 無」に1つでも○がある事業所にお伺いします。)

問6 がん検診を実施していない理由についてお答えください。  
(がん検診の種類ごとに、該当する番号をすべて○)

	がん検診を依頼できない (わかず検査の機会がないため)	がん検診を受けられない (間がなくて検査の受け取りにくい)	がん高額診療に要する費用	がん検診に関する事務が煩雑であるため	従業員ががん検診を希望しないため	がん検診が労働安全衛生法に義務付けられていないため	従業員(対象者)が少ないため	その他 具体的に記入
①胃がん	1	2	3	4	5	6	7	8
②大腸がん	1	2	3	4	5	6	7	8
③肺がん	1	2	3	4	5	6	7	8
④乳がん	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤子宮頸がん	1	2	3	4	5	6	7	8

＜貴事業所でのがん検診実施後の対応についてお伺いします＞

問7 事業所が従業員のがん検診の結果を検診機関から入手するには、従業員から同意を得る必要があることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

問8-1 常用雇用者へのがん検診の結果通知および要精密検査該当者への受診勧奨等についてお答えください。

(1) 常用雇用者のがん検診の結果について把握していますか。(該当する番号を1つだけ○)

- 1 すべての受診者の結果を把握している
- 2 一部の受診者の結果を把握している
- 3 把握していない ⇒ 問8-5へ
- 4 その他 ( ) ⇒ 問9へ

(問8-1で、「1」または「2」とお答えの方に)

→問8-2 個人のがん検診の結果の把握の方法についてお答えください。(該当する番号をすべて○)

- 1 がん検診を行う機関から提供を受けている
- 2 本人から提供を受けている
- 3 保険者から提供を受けている
- 4 その他 ( )

(問8-1で、「1」または「2」とお答えの方に)

→問8-3 要精密検査該当者への対応状況についてお答えください。(該当する番号を1つだけ○)

- 1 結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を1回行う
- 2 結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を受診が確認できるまで行う
- 3 結果通知のみを行っている ⇒ 問9へ
- 4 結果通知等は行っていない(精密検査受診の勧奨等は、一切行っていない) ⇒ 問9へ
- 5 その他 ( ) ⇒ 問9へ

(問8-3で、「1」または「2」とお答えの方に)

→問8-4 精密検査の受診勧奨等の実施方法についてお答えください。(該当する番号をすべて○)

- 1 文書(郵送、社内便等)
- 2 電子メール
- 3 電話
- 4 FAX
- 5 面談
- 6 その他 ( )

⇒ 問9へお進みください

(問8-1で、「3」とお答えの方に)

問8-5 がん検診の個人ごとの結果を把握していない理由についてお答えください。

(該当する番号をすべて○)

- 1 検診結果は個人情報となるため
- 2 把握するだけの体制がないため
- 3 把握するだけの時間がないため
- 4 希望者のみの選択実施であり個別の結果把握が困難なため
- 5 検診対象者数や受診者数が把握できていないため
- 6 その他 ( )

(すべての方に)

問9 従業員のがん検診の結果に所見が見られた場合、どのような環境やツールがあれば十分なサポートができるとお考えですか。(該当する番号をすべて○)

- 1 精密検査受診の後押しができるパンフレットやチラシがある
- 2 該当のがん検診の精密検査が受診できる医療機関のリストがある
- 3 勤務時間内の精密検査受診が可能な制度が福利厚生としてある
- 4 精密検査初回受診時に補助金がある
- 5 その他 ( )

問10 常用雇用者のがん検診の精密検査結果について把握していますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 すべて把握している	3 把握していない
2 一部把握している	4 その他 ( )

＜貴事業所でのがん検診の受診者を増やす取組についてお伺いします＞

問11 貴事業所では、がん検診の受診者を増やす取組を実施していますか。

(該当する番号を1つだけ○)

1 実施している ⇒ 問11-1、問11-2へ
2 実施していない ⇒ 問11-3、問11-4へ (次のページ)

(問11で、「1 実施している」とお答えの方に)

問11-1 実施している取組について、あてはまるものを次の中からすべて選んでください。

また、そのうち、受診者の増加に最も効果的だと考える取組を1つだけ選んでください。

	回答例	実施している取組 (該当すべてに○)	回答例	受診者増加に最も効果的だと考える取組 (1つだけ○)
(1) がん検診受診費用の補助	1	1	1	1
(2) がん検診を実施する近隣の医療機関との提携	2	2	2	2
(3) がん検診を受けやすい勤務環境づくり (がん検診受診時間を就労扱いにするなど)	3	3	3	3
(4) がん検診受診の利便性の向上 (申込方法の簡素化など)	4	4	4	4
(5) 上司から部下へのがん検診の受診勧奨	5	5	5	5
(6) 保健事業を担当するスタッフ(衛生管理者など)からのがん検診の受診勧奨	6	6	6	6
(7) 手紙や電子メール等を使った従業員個人へのがん検診の受診勧奨や情報提供	7	7	7	7
(8) 広報誌やホームページ等を使った従業員全体へのがん検診の受診勧奨や情報提供	8	8	8	8
(9) 事業所内でのがん検診に関する勉強会・講演会・セミナーの開催	9	9	9	9
(10) 市町村が作成したがん検診のチラシやパンフレット等を使った情報提供	10	10	10	10
(11) がん検診受診促進につながる動機付け (ポイントプログラム等)	11	11	11	11
(12) その他 ( )	12	12	12	12

(問11で、「1 実施している」とお答えの方に)

問11-2 問11-1でのがん検診受診者の増加の取組のほか、実施している取組があればお答えください。

(該当する番号をすべて○)

1 運動や禁煙指導など、がん予防のためのプログラムの作成や活動を行った
2 がん検診に関する予算を増額した
3 「がん検診普及員」など、従業員の中からがん予防の取組を推進する人材を指名した
4 従業員の家族に対してがん検診受診の呼びかけ(チラシの配布等)を行った
5 顧客や取引先に対してがん検診受診の呼びかけ(チラシの配布等)を行った
6 行政と協働してがん予防を啓発するイベント等を実施した
7 他の企業や事業所と協働してがん予防を啓発するイベント等を実施した
8 その他 ( )
9 特になし

⇒ 問12へお進みください

(問11で、「2 実施していない」とお答えの方に)

問11-3 理由としてあてはまるものを次の中から選んでください。  
(該当する番号をすべて○)

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 1 | がん検診に関する予算が不足している                 |
| 2 | 衛生管理者など保健事業を担当するスタッフが不在、または不足している |
| 3 | 近隣にがん検診を実施する医療機関がない、または少ない        |
| 4 | 経営層が、がん検診受診の重要性や必要性を理解していない       |
| 5 | 従業員が、がん検診受診の重要性や必要性を理解していない       |
| 6 | 従業員にがん検診の受診勧奨を行う手段がない             |
| 7 | その他 ( )                           |
| 8 | 特に理由はない                           |
| 9 | わからない                             |

(問11で、「2 実施していない」とお答えの方に)

問11-4 今後の取組の実施にあたって、行政に期待することを次の中から選んでください。  
(該当する番号をすべて○)

- |    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 1  | 経営層に向けた、がん検診受診の重要性などに関する講演会やセミナーの開催 |
| 2  | 従業員に対する効果的ながん検診の受診勧奨・情報提供方法の事例紹介    |
| 3  | 事業所でのがん検診実施のためのマニュアルの作成、配布          |
| 4  | チラシ・ポスターによるがん検診の案内                  |
| 5  | ホームページによるがん検診の案内                    |
| 6  | マスメディアによるがん検診の案内                    |
| 7  | がん検診に関する情報やデータの提供                   |
| 8  | がん検診に積極的な事業所の表彰                     |
| 9  | その他 ( )                             |
| 10 | 特にない                                |

**<貴事業所の「治療と仕事の両立支援」に関する取組についてお伺いします>**

問12 貴事業所において、がん等の継続して治療が必要な病気が発見された従業員が治療と仕事を両立できるような取組がありますか。(該当する番号を1つだけ○)

- |   |           |
|---|-----------|
| 1 | ある ⇒ 問13へ |
| 2 | ない ⇒ 問14へ |

問13 貴事業所の治療と仕事の両立支援の取組をお答えください。(該当する番号をすべて○)

- |   |                           |    |                               |
|---|---------------------------|----|-------------------------------|
| 1 | 社員や管理職、人事・総務などを対象とした研修の実施 | 10 | フレックスタイム制度                    |
| 2 | 時間単位の年次有給休暇               | 11 | 相談窓口の明確化                      |
| 3 | 傷病休暇・病気休暇制度               | 12 | 業務内容や職種、勤務地などの変更              |
| 4 | 休暇期間延長制度                  | 13 | 産業医等産業保健スタッフの配置               |
| 5 | 時差出勤                      | 14 | 事業所独自の賃金等補償制度<br>(補助金・見舞金等含む) |
| 6 | 勤務時間の変更、短時間勤務制度           | 15 | その他                           |
| 7 | 勤務日・勤務日数の変更               |    | )                             |
| 8 | 在宅勤務制度(テレワーク)             |    |                               |
| 9 | 試し出勤制度                    |    |                               |



問14 貴事業所には、現在、がんを治療中の従業員の方はいらっしゃいますか。(該当する番号を1つだけ○)

- |   |         |   |      |
|---|---------|---|------|
| 1 | いる      | ⇒ | 問15へ |
| 2 | いない     | ⇒ | 問16へ |
| 3 | 把握していない | ⇒ | 問16へ |

(問14で、「1 いる」とお答えの方に)

→問15 がんを治療中の方の就労について、本人と相談のうえ、業務内容を決めていますか。  
(該当する番号を1つだけ○)

- |   |            |
|---|------------|
| 1 | 相談のうえ決めている |
| 2 | 特に相談していない  |

(問14で、「2 いない」「3 把握していない」とお答えの方に)

問16 今、従業員からがんになったと報告を受けたら、治療と仕事を両立できる体制を整えることができますか。  
(該当する番号を1つだけ○)

- |   |       |
|---|-------|
| 1 | できる   |
| 2 | できない  |
| 3 | わからない |

(すべての方に)

問17 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」を知っていますか。  
(該当する番号を1つだけ○)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | ガイドラインに基づき両立支援に取り組んでいる |
| 2 | 内容を知っている               |
| 3 | 内容は知らないがあることは知っている     |
| 4 | 知らない                   |

問18 「がん相談支援センター(※1)や「がん相談センターこうち(※2)」を知っていますか。  
(該当する番号を1つだけ○)

- |   |       |
|---|-------|
| 1 | 知っている |
| 2 | 知らない  |

※1 がん相談支援センター：全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口

※2 がん相談センターこうち：ソールにある高知県が設置しているがんに関する相談窓口

調査票に無記入箇所や不明な箇所があった場合、調査担当者より照会をさせていただく場合がございます。

**質問は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。**

## 従業員のがん検診の受診状況等に関する調査

### 従業員向け

- この調査票では、「がん検診の受診」や「仕事とがん治療の両立」についての状況や意識などについてお伺いし、今後の高知県のがん対策に関する取組に反映させることを目的に実施するものです。
- 調査結果は、個人が特定されないよう統計処理を行います。
- この調査では、国が推奨する5つの部位のがん検診を中心にお伺いします。  
(胃、大腸、肺、乳、子宮)
- 「がん検診」という名称の検診を受けた場合だけではなく、職場の定期健康診断や人間ドック等でがんの検査を受けた場合も含めてお答えください。  
例：バリウムを飲みX線を撮る検査＝胃がん検診、  
胸部のX線（レントゲン）を撮る検査＝肺がん検診
- 調査票は全部で6ページで、回答は10分ほどで終わります。
- 回答はこの調査票に直接ご記入ください。

ご回答期限 令和6年6月●日(●)

本調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力をお願いいたします。

(調査受託者：返送・  
問い合わせ先)

●●●●●●  
(〒●●●●-●●●●)

×××■●●●

電話番号：

(平日9:00～17:00)

FAX：

Eメール：

(調査実施主体)

高知県 健康政策

部 健康対策課



健康維新の志士  
けん しん太郎くん

<あなた自身に関することについてお伺いします>

問1 以下についてお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	歳（令和6年4月1日現在）	
お住まいの市町村	市・町・村	
あなたは今の健康状態をどのように感じていますか。（該当する番号を1つだけ○）		
1 健康である	4 健康でない	
2 どちらかといえば健康である	5 わからない	
3 どちらかといえば健康でない		
あなたの周りで、がんにかかった方はいらっしゃいますか。（該当する番号をすべて○）		
1 あなた	5 子	9 友人
2 配偶者	6 孫	10 知人
3 父母	7 兄弟姉妹	11 同僚
4 祖父母	8 他の親族	12 いない、わからない
仕事の業種（該当する番号を1つだけ○）		
1 農業、林業	10 金融業・保険業	
2 漁業	11 不動産業、物品賃貸業	
3 鉱業、採石業、砂利採取業	12 学術研究、専門・技術サービス業	
4 建設業	13 宿泊業、飲食サービス業	
5 製造業	14 生活関連サービス業、娯楽業	
6 電気・ガス・熱供給・水道業	15 教育、学習支援業	
7 情報通信業	16 医療、福祉	
8 運輸業、郵便業	17 複合サービス業	
9 卸売業、小売業	18 サービス業（他に分類されないもの）	
仕事の雇用形態（該当する番号を1つだけ○）		
1 期間を定めずに雇用されている		
2 1か月以上の期間を定めて雇用されている		
3 1か月未満の期間を定めて雇用されている		

## <がんに対する印象・認識についてお伺いします>

問2-1 あなたは、がんについてどのような印象を持っていますか。

(該当する番号を1つだけ○)

- |   |                  |       |
|---|------------------|-------|
| 1 | こわいと思わない         | ⇒ 問3へ |
| 2 | どちらかといえばこわいと思わない | ⇒ 問3へ |
| 3 | どちらかといえばこわいと思う   |       |
| 4 | こわいと思う           |       |
| 5 | わからない            | ⇒ 問3へ |

※問2-1で、「3 どちらかといえばこわいと思う」、「4 こわいと思う」とお答えの方に)

問2-2 あなたが、がんをこわいと思う理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 | がんで死に至る場合があるから                  |
| 2 | がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから  |
| 3 | がんが治っても、後遺症が残る場合があるから           |
| 4 | がんの治療費が高額になる場合があるから             |
| 5 | がんによって仕事を長期間休むか、辞めざるをえない場合があるから |
| 6 | 治療を受けるための医療機関を見つけるのが大変そうだから     |
| 7 | 治療や療養には、家族や友人などに負担をかける場合があるから   |
| 8 | その他 ( )                         |

## <あなたの「がん検診」の受診状況についてお伺いします>

問3 あなたは過去2年間にがん検診を受けましたか。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| <input type="radio"/> | 胃 X 線検査<br>バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。   |
| <input type="radio"/> | 胃内視鏡検査<br>口または鼻から内視鏡（胃カメラ）を挿入し、胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。       |
| <input type="radio"/> | 大腸がん検診（便潜血検査）<br>便を採取して、便に混じった大腸からの出血を調べる検査です。           |
| <input type="radio"/> | 肺がん検診（胸部X線検査）<br>胸部のX線（レントゲン）を撮る検査です。                    |
| (女性の方のみ)              |  |
| <input type="radio"/> | 乳がん検診（マンモグラフィ検査）<br>乳房を圧迫板で挟み、乳房専用のX線（レントゲン）装置で撮影する検査です。 |
| <input type="radio"/> | 子宮頸がん検診（細胞診）<br>子宮頸部の細胞を採取する検査です。                        |
- |   |        |         |
|---|--------|---------|
| 1 | 受けた    | ⇒ 問4-1へ |
| 2 | 受けていない | ⇒ 問4-2へ |

(問3で「1 受けた」とお答えの方に)

問4-1 あなたががん検診を受けた理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

1	がん検診の対象年齢だったから	12	早朝・夜間や休日に受診できたから
2	気になる症状があったから	13	費用が無料だったから
3	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていたから	14	費用が安かったから
4	職場や市町村からお知らせ・案内が来たから	15	家族ががんにかかったから
5	家族に受診を勧められたから	16	友人ががんにかかったから
6	友人に受診を勧められたから	17	ニュースなどで有名人ががんにかかったことを知ったから
7	検診を勧める情報を見聞きしたから	18	自分の健康管理のため
8	自宅や職場の近くで受診できたから	19	過去に自分ががんにかかったことがあるから
9	かかりつけ医で受診できたから	20	その他 ( )
10	医師の指示や勧めがあったから	そのうち最も大きな理由 (□の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input type="checkbox"/>	
11	勤務時間中に受けられたから		

(問3で「2 受けていない」とお答えの方に)

問4-2 あなたががん検診を受けなかった理由は何ですか。(該当する番号をすべて○)

1	がん検診の対象年齢ではないから	12	がん検診そのものを知らないから
2	健康診断や人間ドックの項目・内容に含まれていなかったから	13	うっかり受診するのを忘れてしまったから
3	検査に痛みや苦しさがあると思うから	14	忙しいため、がん検診を受ける時間がとれなかったから
4	費用が高いから	15	自宅や職場のそばに受診できる場所がないから
5	がん検診に手間や時間を割きたくないから	16	平日夜間や休日に受診できる医療機関が近くにないから
6	がんの見落としなど、検診に不信感があるから	17	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから
7	がんが見つかることに不安や恐怖があるから	18	健康に自信があるから
8	がんが見つかることでこれまでの生活や環境が変わりそうだから	19	面倒だったから
9	職場や市町村からお知らせ・案内が来なかったから	20	恥ずかしいから
10	どこでどのように受診すればよいか、わからなかったから	21	その他 ( )
11	どのような検査をされるのか知らないから	そのうち最も大きな理由 (□の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input type="checkbox"/>	

(問5からは全員の方にお伺いします)

問5 今まで、がん検診をどのような機会に受けましたか。(受診回数の多い番号を1つだけ○)

1	職場におけるがん検診 (定期健診・補助を受けての人間ドック等)
2	市町村が行うがん検診
3	全額自費で個人的に検診を受けた (人間ドック等)
4	その他 ( )

問6 どのようなことがあれば、がん検診を受けたいと思いますか。（該当する番号をすべて○）

1	がん予防や気になる症状について、検診受診時にアドバイス等が受けられる	10	無料で受診できる
2	休暇を取らずに勤務時間中に受診できる	11	安い費用で受診できる
3	自宅の近くで受診できる	12	短い時間で受診できる
4	職場もしくは職場の近くで受診できる	13	同性の医師や技師を希望できる
5	自宅や職場のある市町村以外の自治体で受診できる	14	予約不要で受診できる
6	早朝・夜間や休日に受けられる	15	検診受診中に託児サービスを利用できる
7	電話・インターネット・はがき等で簡単にがん検診の予約ができる	16	検査に伴う苦痛がない
8	かかりつけ医で受診できる	17	職場の定期健康診断と一緒に受診できる
9	各がん検診を一度に受診できる	18	どんな条件でもがん検診を受診しようと思わない
		19	その他（ <input type="checkbox"/> ）
そのうち最も大きな理由 (□の中に数字を記入) ⇒⇒⇒ <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>			

問7 会社は従業員の健康状態を把握する必要があるため、本人の同意のうえで従業員個人のがん検診の結果を把握する場合があります。会社の担当者に結果を把握されることについてどう思われますか。

1	個人情報なので会社に知られたくない
2	会社が従業員の健康状態を把握することに抵抗はない
3	抵抗はあるが、会社には知っておいてもらいたい
4	その他（ <input type="checkbox"/> ）

問8 がん検診の精密検査の対象となった場合、あなたはどうか行動すると思いますか。  
(検診結果に何らかの所見の記載があったり、精密検査を受けにくいように指示があった場合)

1	すぐ精密検査を受ける
2	体調が悪ければ精密検査を受ける
3	精密検査を受けない
4	その他（ <input type="checkbox"/> ）

<がん検診受診情報の入手経緯についてお伺いします>

問9-1 がん検診の受診を勧める情報が様々な方法で発信されていますが、あなたは、これまでにこのような情報を見聞きしたことがありますか。（該当する番号を1つだけ○）

<input type="radio"/> 1 ある	<input type="radio"/> 2 ない	⇒ 問 10へ
----------------------------	----------------------------	---------

▶(問9-1 で、「1 ある」とお答えの方は、問 9-2 から問 9-3 にお答えください)

問9-2 がん検診の受診を勧める情報をどこで見聞きしましたか。  
(該当する番号をすべて○)

1 テレビ	8 医療機関
2 ラジオ	9 薬局
3 自治体の広報（広報紙、自治体のホームページ）	10 公共施設（役所、保健所、公民館等） に設置したポスター、チラシ等
4 インターネット（自治体のホームページ以外）	11 まちなか、商業施設に設置したポスター
5 職場の広報や連絡等（広報紙、電子メール）	12 新聞
6 市町村から自宅（本人、家族）に郵送された検診案内	13 その他
7 職場で本人あてに配付された検診案内	)

問9-3 がん検診の受診を勧める情報を見聞きして、実際に受診しようと思いましたが、または受診しましたか。（該当する番号を1つだけ○）

1 情報を見聞きする前から受診していた
2 情報を見聞きして受診しようと思い、実際に受診した
3 情報を見聞きして受診しようと思ったが、実際には受診しなかった
4 受診しようとは思わなかった

問10 お住まいの市町村のがん対策の取組を知っていますか。（該当する番号をすべて○）

1 対象年齢の方へのがん検診無料クーポン券の発行
2 がん検診受診券の発行
3 平日夜間や土日がん検診の実施
4 住んでいる市町村以外でがん検診を受診できる（広域がん検診）
5 がん検診のウェブ申し込み

問11 県のがん対策の取組を知っていますか。（該当する番号をすべて○）

1 テレビCMやインターネット、SNS 広告でのがん検診受診啓発（※1）
2 一緒に行こう！がん検診キャンペーン（※2）
3 子宮頸がん無料検診イベント（毎年秋に実施）
4 子宮頸がん（HPV）ワクチン接種のInstagram、LINE 広告

※1 テレビCM



※1 SNS 広告



※2



＜治療と仕事の両立支援についてお伺いします＞

問12 「治療と仕事の両立支援」とは、がん等の継続して治療が必要な方（治療をしながら働きたいという思いがあり、主治医によってそれが可能だと判断された方）が適切な治療を受けながら働き続けられるよう支援する取組のことで、

「治療と仕事の両立支援」の取組について知っていましたか。（該当する番号を1つだけ○）

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問13 あなたの職場は、がんの治療や検査をしながら働き続けられる環境だと思いますか。（該当する番号を1つだけ○）

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1 そう思う ⇒ 問15へ         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う ⇒ 問15へ | 4 そう思わない         |

（問13で、「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」とお答えの方に）

問14 がんの治療や検査をしながら働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。（該当する番号を1つだけ○）

- 1 代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから
- 2 職場が休むことを許してくれるかどうかかわからないから
- 3 がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから
- 4 休むと収入が減ってしまうから
- 5 がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから
- 6 休むと職場での評価が下がるから
- 7 その他（ ）

（すべての方に）

問15 働く意欲のあるがん患者が働き続けるようにするためには、どのような取組が必要だと思いますか。（該当する番号をすべて○）

- 1 病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できること
- 2 1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度
- 3 在宅勤務を取り入れること
- 4 がん患者と産業医と主治医の連携
- 5 企業向けセミナーなど、職場の理解を深めるための広報啓発
- 6 主治医が就労環境への配慮を求める意見書を提出すること
- 7 その他（ ）

問16 「がん相談支援センター（※1）や「がん相談センターこうち（※2）」を知っていますか。（該当する番号を1つだけ○）

- 1 知っている
- 2 知らない

※1 がん相談支援センター：全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口  
 ※2 がん相談センターこうち：ソールにある高知県が設置しているがんに関する相談窓口

～ご案内～

県では「高知県版がんサポートブック」を作成し、主に医療機関でがん患者やそのご家族にお渡ししています。がんに関する相談窓口、治療と仕事の両立、経済面での支援などの情報を掲載しています。



健康対策課HP

質問は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。